

事業所名:みらいずジュニア美郷

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	75%	25%	0%	児発・放ディ(集団・個別)が重なった場合にもパテーションで仕切りを作り、それぞれが活動出来るスペースの確保に努めている。
	2	職員の配置数は適切であるか	75%	25%	0%	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	75%	25%	0%	活動に不要なものはしまう、児童や指導員の動線を考え物品配置を決めている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	75%	25%	0%	気温が低い日は教室内も冷えるのでエアコンをつけるなどして子供達が来る前から温めている。エアコンの掃除など日々の業務に追われてできないこともあるので時間を見つけて行いたい。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100%	0%	0%	2回/日のMTGや振り返り時間を設けてPDCAサイクルで支援が出来るよう努めている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	75%	25%	0%	頂いた意見を元に改善点を考え対応している。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%	0%	0%	年1回評価を行いHPIに掲載している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0%	0%	100%	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%	0%	0%	療育内容だけではなく、感染症や送迎等、業務に必要な内容を研修している。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	100%	0%	0%	年齢・学年ではなく、児童を個々にアセスメントし、特性に合わせた計画作成を心がけている。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%	0%	0%	アセスメントシートを活用し情報収集している。その他専門的介入が必要な児童に対しては、身体機能等のアセスメントもしている。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100%	0%	0%	

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%	0%	0%	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%	0%	0%	事業所内および社内でもプログラム内容の検討をしている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	75%	25%	0%	月1~2回、児童によっては毎回内容を変更し、対象児が取り組める課題を提供している。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	100%	0%	0%	基本的には集団活動を行っているが、個別訓練が必要な児童は組み合わせた支援を提供している。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	0%	0%	朝・昼の2回打合せを行っている。支援内容やスタッフの動きを確認している。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%	0%	0%	児童帰宅後に必ず振り返りの時間を設けている。児童の様子や支援内容等、出来事の共有をしている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	0%	0%	毎日支援記録を残している。保護者には連絡帳でお伝えしている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%	0%	子どもの状況に応じて支援内容の見直しをしていく得意なこと、苦手なところを把握し支援につなげている
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	75%	25%	0%	支援開始前や定期的に担当者会議を行い、関係機関のそれぞれの様子や支援方法の情報交換をしている。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	25%	75%	0%	保健師等とのやりとりや出来ていない。
	23	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%	0%	0%	可能な限り担当者会議の機会を設けている。
	24	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%	0%	0%	可能な限り担当者会議の機会を設けている。
	25	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	25%	75%	0%	保護者や相談員経由で他事業所の情報を得ることが多い。
	26	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	25%	0%	75%	感染症等により実施出来ていない。
	27	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	100%	0%	0%	代表者が自立支援協議会に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	25%	75%	0%	帰送迎時に頑張ったところや成長したところを伝えるよう心がけている。連絡帳を活用してお伝えしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	100%	0%	0%	年に数回、ペアトレや意見交換の場を設けている。
30	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%	0%	契約時や必要時に応じて説明している。	

保護者への説明責任等	31	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100%	0%	0%	利用開始時、ニーズ・課題に合わせた個別支援計画の作成を行い、保護者に説明・同意を得ている。
	32	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%	0%	0%	動画を見せたり、取り組んだプリントを見せるなどして具体的に伝わるよう心がけている
	33	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	25%	75%	0%	感染症等により実施出来ていない。
	34	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	0%	相談内容は上長に報連相し、迅速に対応している。
	35	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	0%	0%	
	37	個人情報の取扱いに十分注意しているか	100%	0%	0%	書類関係は鍵付き書庫に保存している。
	38	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	0%	
	39	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	75%	25%	0%	
非常時等の対応	40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	100%	0%	0%	マニュアル作成、避難訓練を行っている。
	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	0%	非常時に備えた対応について再度確認を行う
	42	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	75%	25%	0%	利用開始時に服薬状況、てんかん発作等の確認をしている。てんかん発作が頻発する児童は適宜保護者に様子や内服状況を確認するようにしている。
	43	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%	0%	0%	食物アレルギーがある児童への食事・おやつ提供はしていない。
	44	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	75%	25%	0%	ヒヤリハットが起こったことはないが、注意が必要なことは共有し、対応策を考えるようにしている。また社内他事業所にも共有するようにしている。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%	0%	0%	年に数回研修を行っている。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	100%	0%	0%	契約時に身体的拘束・虐待防止の取り組みについて説明・同意を得ている。